国立大学附置研究所・センター長会議　第３部会（人文社会科学系）シンポジウム

日 時

2015年10月2日（金）

13:00–15:40（開場12:30）

会 場

東京大学本郷キャンパス
情報学環・福武ホール
福武ラーニングシアター（地下２階）

参加無料
先着80名

リスクとどうつきあうか
―ポスト3.11の知恵―

東日本大震災を契機に、「防災」から「減災」へとパラダイム転換が模索されている。リスクを封じ込めようとするのでなく、普段から個人や社会の脆弱性を減らすこと、それが災害の被害も減らす。
リスクに負けないレジリエントな社会のありかたを、地域安全システム学、文化人類学、法学、社会地理学などの知恵を集めて考えたい。

報 告

加藤　孝明　東京大学生産技術研究所　准教授
ポスト東日本大震災の地域づくり
―これからの時代の文脈で災害リスクとどう付き合い、レジリエンスをどう考えるか

李　　善姫　東北大学東北アジア研究センター　教育研究支援者
移住女性たちの災害経験とレジリエンス―東日本大震災からの問いかけ

佐藤　岩夫　東京大学社会科学研究所　教授
リスク・コミュニケーションと法

コメント

池田　恵子　静岡大学教育学部　教授
防災総合センター　兼務教員

司 会

大沢　真理　東京大学社会科学研究所
所長

参加御希望の方は、所属・職名・氏名をご記入の上、下記e-mailアドレス宛にお申し込みください。

東京大学社会科学研究所総務チーム
e-mail：cricjnu3@iss.u-tokyo.ac.jp
tel：03-5841-4904　　fax：03-5841-4905

国立大学附置研究所・センター長会議
http://shochou-kaigi.org

東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO

ISS Institute of Social Science The University of Tokyo